

気にしたことがありますか？

# 災害時のごみ問題

地震や水害などの災害で被災したら、壊れたり泥だらけになったりして使えなくなったものはどうしますか。全てまとめて「災害ごみ」として出せば大丈夫!と思いませんか。実は違います!災害時の分別こそが早期の復旧復興につながる大事な一歩なのです。

阪神・淡路大震災や東日本大震災など、各地の被災地で災害ボランティア活動を継続。2022年8月の南加賀を中心とした大雨災害の際にも現地でボランティア活動の傍ら、調整役を務める。活動の中で見えてきた「ごみ」問題について、小学生対象の防災減災学習会も行っている。

北村 裕一さん

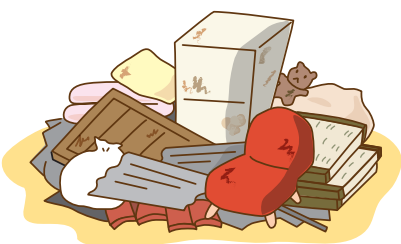
日本赤十字社石川県支部  
ボランティア  
防災ボランティア・リーダー  
赤十字救急法指導員

教えてくれた人



災害「ごみ」とは言いますが…

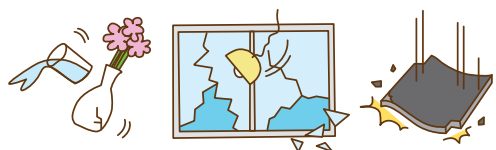
使えなくなってしまったものでも、被災された方にとってはそれまで生活や思い出の一部だったもの。「ごみ」とか「がれき」などと呼ばれるのはつらい気持ちになるかもしれません。片付けをするために便宜上「災害ごみ」と表現することもあります。できるだけ被災された方の前で安易に「ごみ」や「がれき」と呼ばないようにしています。



どんなものが災害ごみになりうるか、想像してみましょう

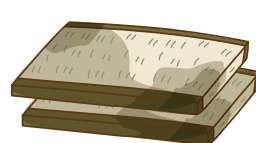
地震だったら…

ものが壊れる・割れる・潰れる  
衝撃を受ける(倒れる・落下する・ぶつかる・挟まれる)など  
家具、柱、瓦、食器、ガラスなど



水害だったら…

濡れて重たくなる・泥だらけになる  
腐る・悪臭がする・錆びるなど  
泥まみれの畳、布団、家具、  
流れ込んできた自分のものではない家財など

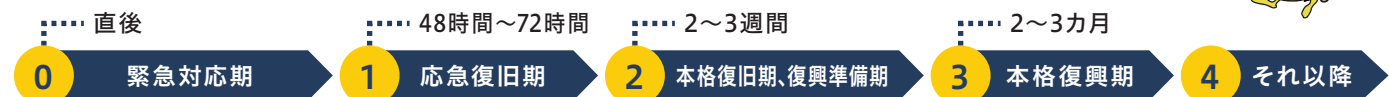


水に浸かった畳は  
1枚約100kgに



災害時のフェーズとごみ問題

フェーズとは、時間の移り変わりに伴う環境・情報・方針・手段・行動・心理などの変化のこと。被災者・行政・公的機関・ボランティアやインフラ・物流・システムなどが、フェーズの変化に伴いそれぞれの状況が変わっていきます。同様に災害ごみを取り巻く状況も変化します。



水害の場合

泥まみれの廃棄物が散乱。畳、布団、家具など処分に困る。自分の所有物ではない廃棄物が流れ込んでくる場合もある。

食事や排せつに伴う生活ごみが出る。ペットからも。

水分を含んだ廃棄物が積み上がり、悪臭や腐敗のもとになる。さらに、被災していない人が便乗して廃棄物を持ち込むようなこともある。

※フェーズ①～フェーズ④までの時間区分は一例です(災害によってフェーズが変化するタイミングは異なります)。



災害ごみはどうやって片付ける？

災害時には普段のごみ集積場所とは別に、行政(場合によっては町内会)が災害ごみの仮置き場を設置することがあります。そこでもエリア分けされ、廃棄物を分別して出せるようになっています。



早く日常に戻るためには分別が  
大切なんだね



POINT

できるだけ分別の境界線をまたがないように、間をあけて置きましょう。誰かが無秩序に置き始めたことで、後の人も分別して置けなくなります。



POINT

家の前に廃棄物を出しておく場合も分別して置きましょう。スムーズに回収されます。無造作に置くと、通行の妨けになってしまうことがあります。



災害ごみと生活ごみは分ける

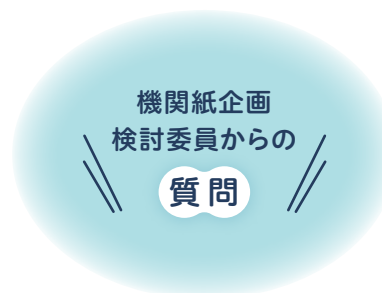
災害時の避難生活でも、食料の包装や使い捨ての食器類、おむつなど、生活ごみは必ず出ます。避難所や自宅、車中などどこに避難していても、生活ごみはいつも通りに分別し、衛生環境を保つため、袋の口をしっかりとしばるなどして、決められた集積場所へ出しましょう。



北村さんからのミニ情報

災害時に役立つ!  
ラップの使い方

- 食器に敷く(水が使えなくても洗わなくてすむ)
- 枕に巻いて、汚れやほこりの防止
- 他にも!
- 体に巻いて防寒に
- 食品を包む
- 包帯にする
- 細くよってひも代わりに
- 丸めてクッションに使用
- 窓ガラスに貼り、油性マジックで書き込んでホワイトボードに



Q 仮置き場の設置はどうやって周知されるの？

A 基本的に町会長さんや区長さんを通して周知されます。掲示板などで周知されるので、こまめに確認するようにしましょう。

Q 大きな家電や畳、自分で運べない人はどうしたら？

A 災害ごみの仮置き場が近くにある場合は、隣近所で助け合って運び出す場合があります。軽トラックなどを所有している人は、自宅の運び出しが終わったら、近所の方々の運び出しにもぜひ手を貸してあげてください。

Q 平時から行政は災害ごみの集積場所や周知方法は決めているの？

A 各市町の地域防災計画に定められている場合がありますが、災害の種類や規模によって、行政と地域の代表が話し合って決めていくことが多いようです。

最後に

災害時であっても、まずは各家庭で「しっかり分別して出すぞ!」という意識が大切です。普段はしっかり分別していらっしゃると思いますが、混乱した災害時でもその習慣をしっかりと活かしてください。一人ひとりが心がけることで廃棄物の処分がスムーズに進むようになります。

